

2020年5月11日

本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目23番5号
 上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ
 代表者 代表取締役社長 次原悦子
 (コード番号: 2180)
 問合せ先 取締役グループ管理本部本部長 相田 俊充
 電話番号 03-6894-3232

特別損失（減損損失）の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年6月期第3四半期連結会計期間において、特別損失（減損損失）を計上いたしました。また、2020年2月13日に開示した2020年6月期（2019年7月1日～2020年6月30日）通期業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

新型コロナウイルス感染症による当社グループ業績への影響を踏まえた将来の回収可能性を慎重に検討した結果、bills 事業に係る固定資産（店舗設備）について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、当第3四半期において、特別損失（減損損失）218百万円を計上いたします。

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2020年6月期通期連結業績予想値の修正（2019年7月1日～2020年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 15,630	百万円 840	百万円 888	百万円 590	円 銭 39.22
修正値 (B)	13,810	249	77	▲179	△11.92
増減額 (B-A)	▲1,820	▲591	▲811	▲769	—
増減率	▲11.6%	▲70.4%	▲91.3%	—	—
(参考)前期実績 (2019年6月期)	14,627	610	718	493	33.42

(2) 修正の理由

当社グループの連結業績は、2019年11月11日付「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、公表時点では過去最高の業績となる見込みでした。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大による景況の悪化、また、緊急事態宣言に伴う外出自粛措置の影響から好調だった当社グループの各事業活動も減速を余儀なくされている状況であり、こうした足元の状況と今後の動向予測を踏まえ、通期連結業績予想を修正するものであります。

これにより、通期での売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回公表の業績予想を下回る見込みとなりました。

(売上高)

日本はもとより、ハワイや韓国でも展開している「bills 事業」では、新型コロナウイルス感染拡大を起因とした世界的な外出自粛の動きに伴う客数減少により、2020年2月以降、売上高が減少傾向を見せ始めました。また当社グループでは、緊急事態宣言の発令に先んじて、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、国内全店舗を2020年4月6日～5月6日まで臨時休業といたしました。またハワイ店については、ハワイ州政府の自宅待機令に従って3月29日から5月末まで臨時休業としております。国内の一部店舗（七里ヶ浜店、福岡店、銀座店）については、2020年5月13日より時間短縮で営業を再開するものの、その他の国内店舗については、現時点では営業再開の時期が確定しておりません。

今後の状況次第では、国内および海外店舗ともに臨時休業の再実施や延長、また、再開した場合でも時間短縮営業の可能性があり、事態が収束するまでは集客状況の回復が難しい中、売上高の大幅な減少は避けられず、前回発表の通期業績予想が未達となる予測に至りました。

当社グループの基幹事業である「マーケティング・コミュニケーション事業」および「スポーツ事業」は今期も順調な営業活動を展開していましたが、特に2020年3月後半以降については、クライアント企業等の活動が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受注案件の延期や中止、予算の減額が発生し、第4四半期の業績に大きな影響を与えております。

その他、同様な状況である「S P・M D事業」や「開発事業」といった他セグメントの状況も考慮した結果、売上高は前回発表の15,630百万円を11.6%下回る13,810百万円の見込みとなりました。

(営業利益)

当連結会計期間を通して、M&Aによるのれんの償却費を除く固定費は前回予想の水準と想定しているものの、売上高予想の修正による業績への影響が大きく、営業利益は前回発表の840百万円を70.4%下回る249百万円の見込みとなりました。特にbills事業では、上記のとおり、新型コロナウイルス感染症による業績への影響が大きく、臨時休業や営業時間短縮に伴う売上高の大幅減少により、営業損失が発生する見込みです。

(経常利益)

営業利益予想の修正に加え、東京オリンピック・パラリンピック開催前後のインバウンド需要を見据え共同運用する原宿駅前の商業施設「jing（ジング）」において、新型コロナウイルス感染拡大を起因とした東京オリンピック・パラリンピック開催延期決定およびイベント自粛のムードの高まりにより、顧客開発活動が鈍化したことによる組合事業の損失、および、インバウンド向け事業を展開する投資先企業の業績悪化に伴う持分法投資損失が想定外に発生する点を予想に反映し、経常利益は前回発表の888百万円を91.3%下回る77百万円の見込みとなりました。

(親会社株主に帰属する当期純利益)

経常利益予想の修正に加え、上記1.の特別損失の計上、法人税等を加味し、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表の590百万円を大幅に下回る▲179百万円の見込みとなりました

※本資料に記載されている業績見通し等の記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって当該予想と異なる場合がありますので、予めご了解ください。

以上

(本件に関するお問合せ先)

株式会社サニーサイドアップグループ グループ管理本部 経営企画部 TEL 03-6894-2241